

2024国際航空宇宙展(JA2024)の開催せまる

2024国際航空宇宙展（JA2024）が、来る10月16日より開催される。展示会としてはJA2018から6年振り、パブリックデーについてはJA2016以来8年振りの開催である。本展示会において、新型コロナウイルス感染症の影響から力強く回復する我が国航空宇宙産業の情報を発信し、世界的なビジネス拡大の機会となるように、そして、多くの方の航空宇宙分野への理解と関心につながるように関係者一同準備を進めてきた。ほぼ1か月後にせまった本展示会の最新状況について報告する。

1. 我が国国際航空宇宙展の歴史

（一社）日本航空宇宙工業会が国際航空宇宙展に関わるようになったのは、1966年に朝日新聞社が中心となって開催された「第1回東京航空宇宙ショー」に「エアショー協議会」の一員として参加したのが最初である¹⁾。当時、我が国航空工業界の再建が緒についたばかりであり、業界再建の促進及び国民的関心

の高揚を図る目的であったとされる。

その後、展示会は下記に示すように開催され、今回で16回目を迎える。当初は航空自衛隊基地を活用させて頂く形で祭典が行われていたが、8回目以降は主として東京近郊の展示場を会場としたビジネス中心の展示会へと変遷している。

回	開催年	開催場所	参加団体数
1	1966	航空自衛隊入間基地	42
2	1968	航空自衛隊入間基地	96
3	1971	航空自衛隊小牧基地	177
4	1973	航空自衛隊入間基地	119
5	1976	航空自衛隊入間基地	123
6	1979	航空自衛隊入間基地	122
7	1983	航空自衛隊岐阜基地	110
8	1991	幕張メッセ	259
9	1995	幕張メッセ	282
10	2000	東京ビッグサイト	297
11	2004	パシフィコ横浜	343
12	2008	パシフィコ横浜	528
13	2012	ポートメッセ名古屋 及びセントレア空港	636
14	2016	東京ビッグサイト	812
15	2018	東京ビッグサイト	520
16	2024	東京ビッグサイト	

世界に目を向けると、100年前後の歴史を持ち、評価の定着したパリ（仏）、フアンボロ（英）、ベルリン（独）のほか、ドバイ（UAE）、シンガポール、ソウル（韓）、アバロン（豪）などのエアショーが、いずれもほぼ2年毎に開かれている。その規模を出展社数で比較してみると、JAを1とするならばパリが3、フアンボロとシンガポールが1.5、ベルリンが同等となっている。

2. JA2024概要

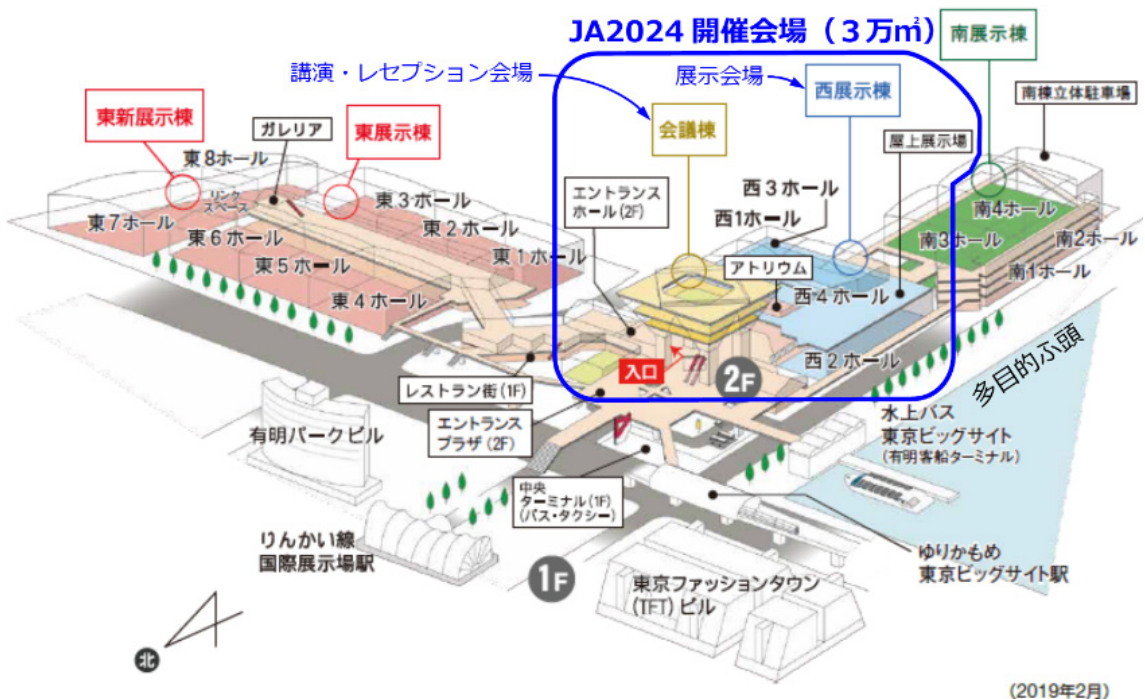
(1) 開催準備状況

JA2024は10月16日(水)～19日(土)の間、東

京ビッグサイト西展示棟全館で開催される。

今回はJA2016の812社と同等規模の出展を目標としてきたが、7月31日時点で648社・団体に達し、今後さらに共同出展企業数が増加する見込みである。

また、経産省、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、外務省、文科省、国交省、防衛省を始めとする各省庁やJAXA、NEDO、JETRO、その他英、米、仏、独、加などの各駐日大使館などからも後援を頂いている。



(2) JA2024の特色

- JA2024では、今回初めてテーマを定めた。メインテーマは、今後の航空宇宙産業の拡大と多様化を表すとともに産業の振興を図る思いが込められ、3つのサブテーマは、拡大する分野を網羅し、JA2024の方向性を示している。

○メインテーマ

「空宙(そら)で織りなす、広がる未来。」

○サブテーマ

- ・ SDGsへの航空宇宙産業の取り組み
- ・ 新たな空を拓く輸送システム
- ・ 新しい人間活動領域への挑戦



- ボーイング社、エアバス社、ロッキード・マーチン社、BAEシステムズ社、テキストロン・アビエーション社、RTX（レイセオン）社、ハネウェル社、レオナルド社などの海外大手企業と、各国駐日大使館がとりまとめる海外企業が数多く出展する日本唯一の展示会である。
- 各地方自治体や省庁等の支援を得て、全国の中小企業が多数共同出展する。
- 仏専門会社が運営するビジネス商談会（BtoB）システムを、JA2018に引き続き採用。
- 2024年は航空自衛隊の創設70周年の節目にあたり、防衛省・自衛隊殿の展示とともに、海外各国から防衛・安全保障に携わる方々の来場が計画されている。

3. イベント紹介

(1) ビジネスマッチング

会期中の2日間、世界的に実績があるabe社が運営する国際的なビジネス商談会を実施する。JA2024出展者には本商談会参加にあたり特典（大幅割引）がある。

- 日程：2024年10月17日（木）および
18日（金）10:00～17:00
- 参加方法：

JA2024公式Webサイトのリンクからabe社の商談会専用ページに入り参加申込できる。商談会実施場所は、出展者の各ブースまたは会場内に設置する商談会特設スペースである。また、参加バイヤーとしては、SJACの会員企業を始め、国内外の優良企業等が参加する予定。

(2) セミナー

10月16日(水)は、開会式など公式行事に引き続き、午後より下記の記念講演を実施する。17日(木)及び18日(金)には、航空、宇宙、防衛各分野のセミナーのほか、GX、AAMなど拡大する分野のセミナーを開催する予定である。同時に、SAE航空宇宙日本シンポジウム、JAXA航空シンポジウム、東京工科大CMIシンポジウム等の併催セミナーも計画している。



	予定題目	講師
基調講演	我が国の宇宙政策について (13:00~13:30)	風木 淳 氏 内閣府宇宙開発戦略推進事務局長
	航空機産業戦略、防衛・宇宙産業の 取組について (13:30~14:00)	伊吹 英明 氏 経済産業省製造産業局長
	航空政策の現状と今後について (14:00~14:30)	平岡 成哲 氏 国土交通省航空局長
	防衛生産・技術基盤強化のための 施策と今後の方向性 (14:30~15:00)	石川 武 氏 防衛装備庁長官
特別講演	日米国際協力 (15:20~15:40)	Theodore COLBERT III 氏 米国航空宇宙工業会会長 (Boeing社、防衛宇宙・安全保障部門、CEO)
	日英国際協力 (15:40~16:00)	Ian MULDOWNEY 氏 英国航空宇宙工業会代表 (BAE Systems Air社 COO)

(3) パブリックイベント

最終日19日(土)はパブリックデーとして、航空自衛隊の協力による中央音楽隊の演奏会や、ブルーインパルスジュニアの演技、月基地VR体験、自由参加のスタンプラリーなど多彩なイベントを予定している。イベントで、若年層を含めた一般の方々に航空宇宙分野に親しんでもらい、航空宇宙産業への関心と理解へつなげたいと考えている。

18日(金)には高校、高専、専門学校生向け館内ガイドツアーを計画している。

JA2024では、JAキャラクターのJACKYや、

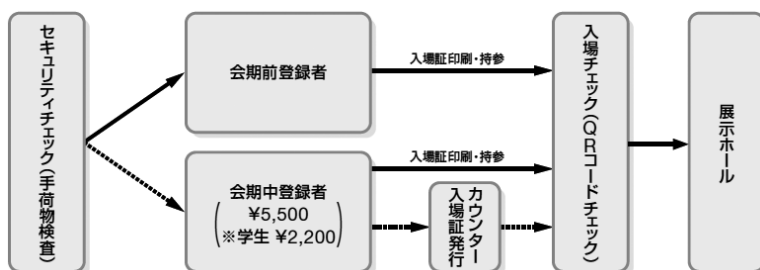
V tuberの採用など若年層向けの新たな取り組みも進めてきており、人材確保の観点からのJA2024活用も期待している。

4. 入場方法など

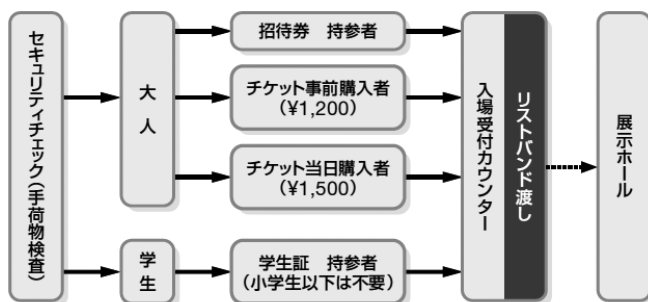
入場にあたっては、10月16日(水)~18日(金)のトレードデーは登録制で、公式Webサイトで事前登録を行えば、来場者は行列に並ばず、スムーズに入場可能である。

10月19日(土)のトレード／パブリックデーでは登録は不要である。

●10月16日(水)～18日(金)《登録制》



●10月19日(土)《登録不要》



公式Webサイトにおける事前登録では、氏名等ご自身の情報を入力頂く。登録完了後、「入場者証」及び「来場者マイページのログインID及びパスワード」をメールで送信するので、入場者証をカラーでプリント後、ご持参頂きたい。また、講演、セミナーの事前聴講申し込みは「来場者マイページ」からの登録となるが、空席があれば当日申し込みでも可能である。

また、各出展社・団体におかれては、専用のハンディターミナル（有料レンタル）で来場者バーコード情報を読み取り、後日来場者リストとして入手できるサービスも利用できるので、ご活用いただきたい。

参考文献 1) 日本の航空宇宙工業50年の歩み、(社)日本航空宇宙工業会、2003年5月

〔(一社)日本航空宇宙工業会 JA 事務局 部長 小林 貴〕